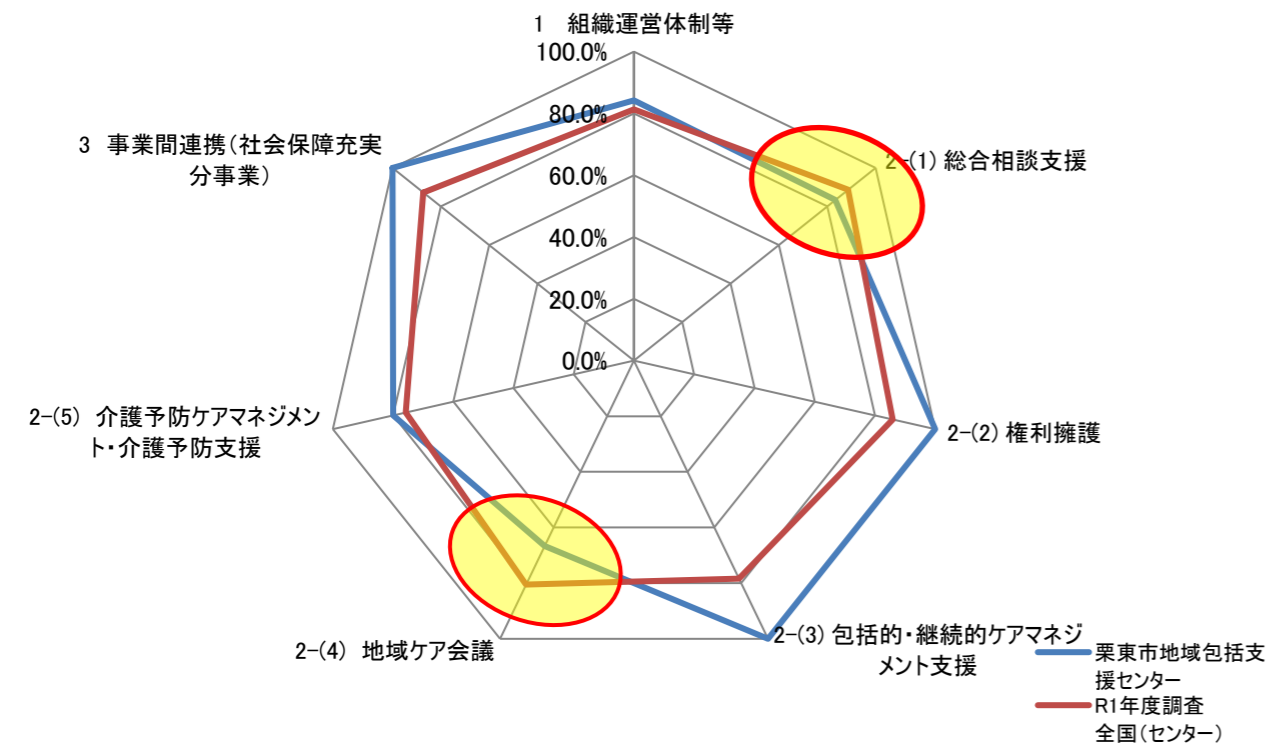


①各センターと全国平均の比較



①地域包括支援センターが全国平均より低い業務について、要因と今後について

○総合相談

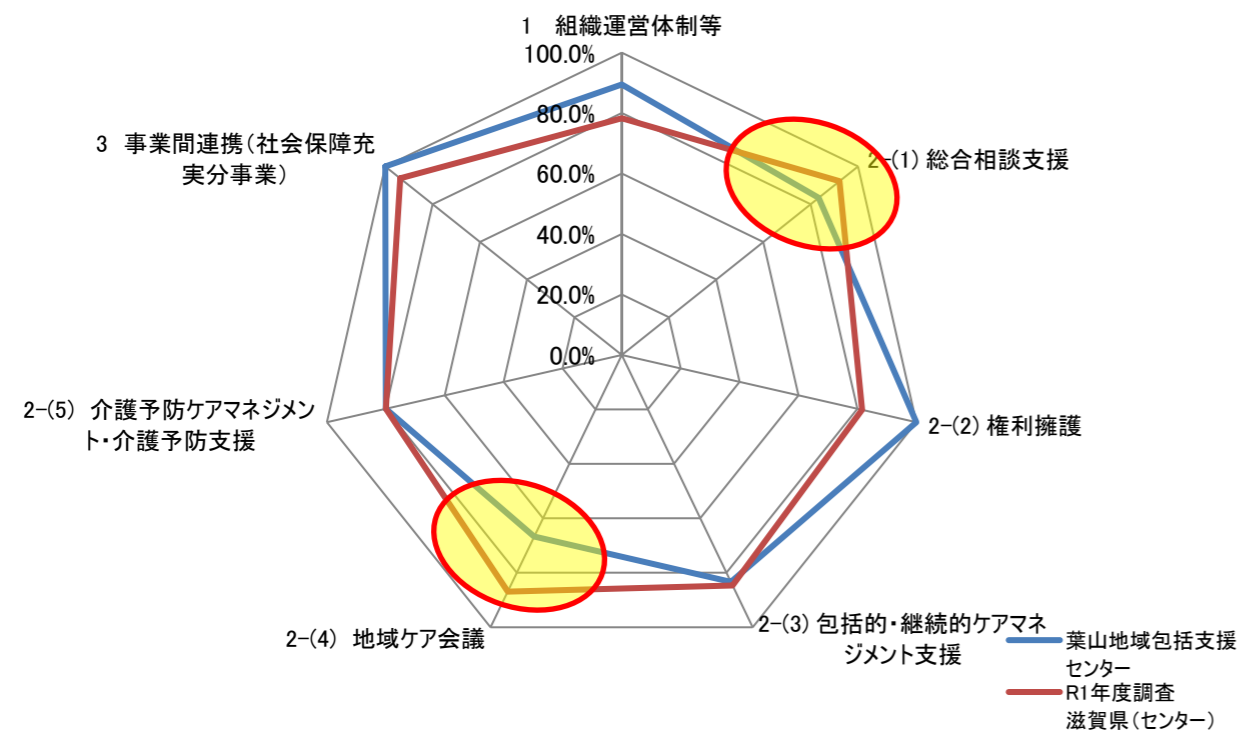
総合相談が下回っている理由の一つ、「相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。」の項目が非該当であったためであった。

⇒今後、地域包括支援センターと終結について協議を行う予定。

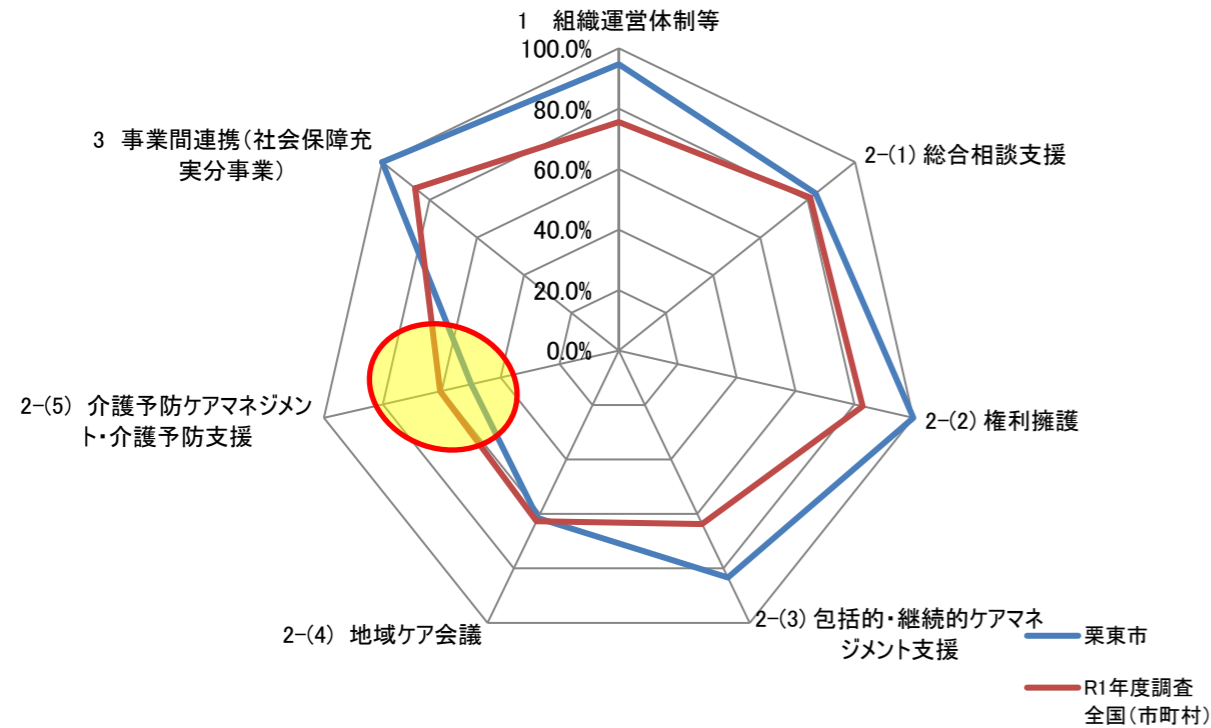
○地域ケア会議

「センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。」  
「センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。」の項目の非該当が影響している。

⇒今年度より地域ケア会議の位置づけや会議録についてはまとめて実施を行っており、今年度の実績より改善する見込み。



②市町村と全国平均の比較



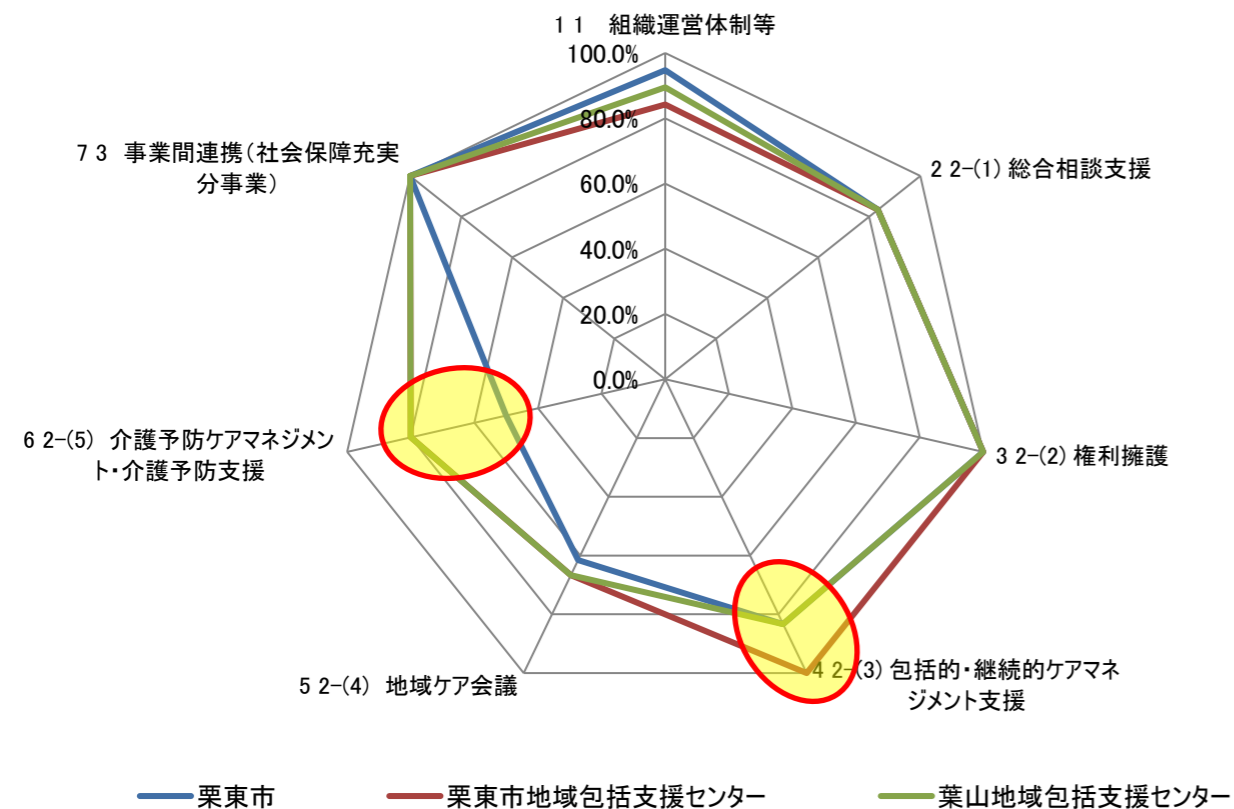
②市の取組が全国平均と低い業務について、要因と今後について

○介護予防支援・介護予防ケアマネジメント項目の差について

市において、「自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。」「センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。」「利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。」の項目が非該当であったため、地域包括支援センターとの間に差ができてしまっている。

⇒今年度、ケアマネジメント支援会議実施に伴い、地域包括支援センター等に自立についての方針を提示。多様な社会資源については、「栗東市買物等生活支援業者一覧」等を提供している。セルフマネジメントの推進については、栗東市として推進していくべきか定まっておらず、今後の課題である。

③市町村と各センターの比較



③市の取組とセンターの取組に差がみられる業務について、要因と今後について

○介護予防支援・介護予防ケアマネジメント項目の差について

上記②での理由と同様。

○包括的・継続的ケアマネジメント

「地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか。」の項目が非該当であったため、差ができてしまっている。

⇒今年度、ケアマネジメント支援会議の実施を目的に、スーパービジョン習得研修を開催し、地域包括支援センター職員も研修に参加。来年度もケアマネジメント支援会議を通じて、センター職員がケアマネジャーに後方支援を図れるようにする。